

講義科目 : 国際法	単位数 : 4
担当 : 秋山 公平	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

国際法の規律対象は広範囲に及び、国際社会の緊密な連携が強調されるにつれ、国際法の役割は益々重要になってきています。国際法は原則として国家間の関係を規律する法として発展してきましたが、今日の国際社会では、環境や人権の分野を中心に、国際社会全体の利益を保護するための法としての機能も担うようになってきています。

この授業では、国家間関係を規律する法としての伝統的な国際法の役割や規則について確認した後、授業の後半では、国際人権法、国際環境法、および国際経済法等の他の法領域を題材に、国際法の主体・規律対象・執行方法等に生じた国際法の新たな発展についても扱い、国際社会における法の動態について考えていきたいと思えます。

国際法の基本的な考え方や規則を学ぶことが主要な目的です。国内社会との違いを意識しながら、国際法の定立・適用・執行の在り方を学びます。

授業計画

第1回	国際社会における国際法の機能	第16回	戦争の違法化
第2回	国際法の主体	第17回	国際の平和と安全の維持
第3回	国際法の法源	第18回	陸の国際法
第4回	条約法①概念・締結・留保	第19回	海の国際法①歴史・制度
第5回	条約法②効力・解釈・終了	第20回	海の国際法②環境・紛争解決
第6回	国際法と国内法の関係	第21回	空と宇宙の国際法
第7回	国家と国際法	第22回	人と国際法
第8回	国家機関（外交関係法）	第23回	国際刑事法
第9回	国家管轄権	第24回	人権
第10回	国家免除	第25回	国際環境法①歴史・特質
第11回	国際組織法	第26回	国際環境法②具体的制度
第12回	国家責任法①構造・発生要件	第27回	国際経済法①通商
第13回	国家責任法②回復・救済	第28回	国際経済法②投資
第14回	紛争の平和的解決	第29回	武力紛争・軍備管理
第15回	国際組織による紛争解決	第30回	まとめ

教材・テキスト・参考文献等

岩沢雄司他編集代表『国際条約集2020』（有斐閣、2020年）

中谷和弘他『アルマ国際法（第3版）』（有斐閣、2016年）

成績評価方法

レポート100%